



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 燦ホールディングス株式会社

コード番号 9628 URL <http://www.san-hd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 古内 耕太郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経理部長

(氏名) 大井 信三

TEL 06-6226-1716

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

平成26年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,925	6.8	898	109.0	906	112.7	510	54.3
26年3月期第2四半期	8,353	△0.5	430	△10.0	426	△9.2	330	61.0

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 510百万円 (54.3%) 26年3月期第2四半期 330百万円 (61.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	90.86	—
26年3月期第2四半期	58.88	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
27年3月期第2四半期	25,733		21,330		82.9	3,797.84
26年3月期	26,231		20,932		79.8	3,726.98

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 21,330百万円 26年3月期 20,932百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
27年3月期	—	20.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,800	4.1	2,040	24.5	2,040	25.8	1,040	9.0	185.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,082,008 株	26年3月期	6,082,008 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	465,396 株	26年3月期	465,396 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	5,616,612 株	26年3月期2Q	5,616,657 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動などの影響から生産面を中心に弱めの動きがみられますが、基調的には緩やかな回復を続けています。その背景には、企業収益が改善するなかで、設備投資が緩やかに増加していること、雇用・所得環境が着実に改善するもとの、個人消費が駆け込み需要の反動の影響を吸収しつつ、底堅く推移していることがあります。

葬祭市場においては、社会構造の変化に伴い、消費者の価値観やニーズが変化しつつあり、葬儀の小型化による単価の下落傾向が続いています。

「終活」という言葉は高齢者層に浸透しつつあり、葬儀をはじめとするライフエンディング・ステージに対する社会的関心は更なる高まりをみせております。

また、長期にわたる安定的な需要が見込まれているため、新規会館の出店を伴う既存業者と新規参入業者との顧客獲得競争に加えて、低価格・簡易型葬儀に特化した葬儀社の出現もあり、競争は激しさを増しています。

このような環境のもと、当社グループでは、エクセル・サポート・サービス㈱の運営による「大阪あんしん葬儀 メモリアス」事業を開始し、新中期経営計画（平成25年4月～平成28年3月）の主要テーマの一つとして掲げた小規模葬儀への対応強化に取り組んでおります。

また、東西エリアの大都市圏を中心とした会館展開については、平成26年10月27日に「公益社 江坂会館」（大阪府吹田市）をオープンし、さらに12月下旬には「公益社 日吉会館」（横浜市港北区）のオープンを予定しています。

当社グループの業績は㈱公益社の首都圏で葬儀件数の増加が顕著にみられるなど堅調に推移しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は89億25百万円（前年同四半期[以下、前年同期]比6.8%増）、営業利益は8億98百万円（前年同期比109.0%増）、経常利益は9億6百万円（前年同期比112.7%増）、四半期純利益は5億10百万円（前年同期比54.3%増）の増収増益となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

#### ① 公益社グループ

公益社グループの中核会社である㈱公益社においては、葬儀件数が前年同期比3.7%増加し、葬儀単価は前年同期比7.6%上昇しました。主な要因は、大規模葬儀（金額500万円超の葬儀と定義）の葬儀件数の増加および葬儀単価が上昇し、一般葬儀においては、前年の新規会館の出店効果も加わり首都圏での葬儀件数が伸張したことによるものです。

この結果、葬儀請負収入は前年同期比11.5%の増収となりました。

葬儀に付随する販売やサービス提供においては、仏壇・仏具販売収入が前年同期比4.8%増加し、相続関連に伴う手数料収入も順調に推移しました。

費用については、㈱公益社大阪本社におけるBPRへの取り組みを反映して、人件費が減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は75億67百万円（前年同期比9.2%増）となり、セグメント利益は5億31百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

#### ② 葬仙グループ

葬仙グループの㈱葬仙においては、前年の大東ホール（島根県雲南市）閉店の影響に加え、一部エリアでのシェア低下のため、葬儀件数が前年同期比11.3%減少し、葬儀単価も0.8%低下したため、減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は6億23百万円（前年同期比12.0%減）となり、セグメント損益は42百万円の損失（前年同期は損益均衡）となりました。

#### ③ タルイグループ

タルイグループの㈱タルイにおいては、葬儀件数は前年同期比5.7%減少しましたが、葬儀単価は顧客ニーズに対応した提案の強化により7.6%上昇したことで、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は5億79百万円（前年同期比2.5%増）となり、セグメント利益は59百万円（前年同期比17.5%増）となりました。

#### ④ 持株会社グループ

持株会社グループの燦ホールディングス㈱においては、グループ会社からの配当収入および業務受託収入が減少したことにより減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は23億19百万円（前年同期比9.7%減）となり、セグメント利益は8億61百万円（前年同期比21.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は41億30百万円となり、前連結会計年度末比10億86百万円減少となりました。主な要因は、新規会館用地の取得および設備投資等の資金需要に内部資金で対応したため、現金及び預金が10億34百万円減少したためです。

固定資産は216億2百万円となり、前連結会計年度末比5億88百万円増加しました。主な要因は、のれんが1億3百万円減少したものの、新規会館用地の取得等により有形固定資産が6億98百万円増加したためです。

この結果、総資産は257億33百万円となり、前連結会計年度末比4億97百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は23億77百万円となり、前連結会計年度末比18億49百万円減少しました。主な要因は、1年内償還予定の社債15億円、営業未払金1億49百万円、賞与引当金1億29百万円減少したためです。

固定負債は20億24百万円となり、前連結会計年度末比9億53百万円増加しました。主な要因は、社債償還に伴う返済資金の調達のため長期借入金が9億64百万円増加したためです。

この結果、負債合計は44億2百万円となり、前連結会計年度末比8億95百万円減少しました。

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は213億30百万円となり、前連結会計年度末比3億97百万円増加しました。この要因は、配当金1億12百万円を支出した一方、四半期純利益5億10百万円を計上したためです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末比3.1ポイント増の82.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の連結業績予想につきましては、平成26年10月28日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,972,007	2,937,811
営業未収入金	633,947	538,969
商品及び製品	130,652	126,857
原材料及び貯蔵品	38,103	26,188
その他	443,147	501,014
貸倒引当金	△1,266	△443
流動資産合計	5,216,592	4,130,398
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,154,225	6,947,620
土地	10,779,897	11,412,860
リース資産(純額)	246,397	236,009
その他(純額)	152,553	434,955
有形固定資産合計	18,333,074	19,031,446
無形固定資産		
のれん	415,130	311,450
その他	138,810	139,106
無形固定資産合計	553,941	450,556
投資その他の資産		
長期貸付金	468,300	449,723
不動産信託受益権	572,483	557,267
差入保証金	675,397	676,673
その他	431,935	457,369
貸倒引当金	△20,704	△20,289
投資その他の資産合計	2,127,413	2,120,744
固定資産合計	21,014,429	21,602,747
資産合計	26,231,021	25,733,145

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	750,547	601,261
短期借入金	10,000	15,000
1年内償還予定の社債	1,500,000	—
1年内返済予定の長期借入金	357,668	293,868
リース債務	78,690	77,690
未払法人税等	309,075	276,577
賞与引当金	532,809	403,258
役員賞与引当金	52,560	24,630
移転損失引当金	19,000	—
その他	617,157	685,421
流動負債合計	4,227,507	2,377,707
固定負債		
長期借入金	303,247	1,267,813
リース債務	180,656	170,997
退職給付に係る負債	137,901	134,665
資産除去債務	152,101	153,328
その他	296,612	297,656
固定負債合計	1,070,519	2,024,460
負債合計	5,298,026	4,402,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,568,157	2,568,157
資本剰余金	5,488,615	5,488,615
利益剰余金	13,889,561	14,287,544
自己株式	△1,013,340	△1,013,340
株主資本合計	20,932,994	21,330,978
純資産合計	20,932,994	21,330,978
負債純資産合計	26,231,021	25,733,145

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業収益	8,353,920	8,925,645
営業費用	7,158,476	7,302,255
営業総利益	1,195,444	1,623,389
販売費及び一般管理費		
役員報酬	118,910	102,316
給料	177,569	165,853
賞与	6,759	6,340
賞与引当金繰入額	46,066	36,721
役員賞与引当金繰入額	24,480	24,630
貸倒引当金繰入額	△2,564	△926
のれん償却額	103,680	103,680
減価償却費	29,199	30,070
その他	261,102	255,708
販売費及び一般管理費合計	765,203	724,395
営業利益	430,240	898,994
営業外収益		
受取利息	6,261	6,059
受取配当金	4	4
雑収入	15,950	18,712
営業外収益合計	22,215	24,776
営業外費用		
支払利息	19,359	12,473
雑損失	7,043	5,278
営業外費用合計	26,402	17,751
経常利益	426,052	906,019
特別利益		
固定資産売却益	234,639	18
特別利益合計	234,639	18
特別損失		
固定資産売却損	18,821	—
固定資産除却損	2,006	702
その他	200	—
特別損失合計	21,028	702
税金等調整前四半期純利益	639,663	905,335
法人税、住民税及び事業税	302,591	345,520
法人税等調整額	6,385	49,499
法人税等合計	308,977	395,020
少数株主損益調整前四半期純利益	330,686	510,315
少数株主利益	—	—
四半期純利益	330,686	510,315



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	330,686	510,315
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	—	—
四半期包括利益	330,686	510,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	330,686	510,315
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	639,663	905,335
減価償却費	351,873	384,203
のれん償却額	103,680	103,680
有形固定資産除却損	2,006	702
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,828	△1,237
賞与引当金の増減額(△は減少)	△185,532	△129,550
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26,080	△27,930
移転損失引当金の増減額(△は減少)	—	△19,000
受取利息及び受取配当金	△6,265	△6,063
支払利息	19,359	12,473
有形固定資産売却損益(△は益)	△215,817	△18
売上債権の増減額(△は増加)	108,782	94,978
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,440	15,709
仕入債務の増減額(△は減少)	△148,255	△149,286
未払消費税等の増減額(△は減少)	△65,587	140,528
その他	△251,554	△162,303
小計	329,884	1,162,221
利息及び配当金の受取額	3,825	3,851
利息の支払額	△19,447	△19,717
法人税等の支払額	△481,681	△376,859
法人税等の還付額	100	1,264
営業活動によるキャッシュ・フロー	△167,318	770,760
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△347,194	△1,009,813
有形固定資産の売却による収入	269,433	33
無形固定資産の取得による支出	△4,388	△21,590
貸付金の回収による収入	9,946	9,945
保険積立金の解約による収入	4,590	—
その他の収入	7,429	1,187
その他の支出	△2,715	△34,515
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,898	△1,054,754
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△20,000	5,000
長期借入れによる収入	—	1,054,800
長期借入金の返済による支出	△289,834	△154,034
社債の償還による支出	—	△1,500,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△42,545	△43,636
配当金の支払額	△112,333	△112,332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,713	△750,203
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△694,929	△1,034,196
現金及び現金同等物の期首残高	3,560,383	3,972,007
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,865,453	2,937,811

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	6,915,668	708,978	565,986	163,286	8,353,920	—	8,353,920
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	12,663	—	19	2,404,784	2,417,467	△2,417,467	—
計	6,928,332	708,978	566,006	2,568,070	10,771,387	△2,417,467	8,353,920
セグメント利益 又は損失(△)	△12,820	△389	50,958	1,092,321	1,130,070	△704,017	426,052

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	△600,000
のれん償却額	△103,680
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	△337
合計	△704,017

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	公益社 グループ	葬仙 グループ	タライ グループ	持株会社 グループ	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	7,554,438	623,872	579,873	167,460	8,925,645	—	8,925,645
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	13,538	—	41	2,151,713	2,165,293	△2,165,293	—
計	7,567,977	623,872	579,915	2,319,173	11,090,938	△2,165,293	8,925,645
セグメント利益 又は損失(△)	531,210	△42,505	59,879	861,729	1,410,313	△504,293	906,019

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額の内容は以下のとおりであります。

(単位:千円)

	金額
持株会社が連結子会社から受 け取った配当金の相殺消去額	△400,000
のれん償却額	△103,680
債権債務の相殺消去に伴う貸 倒引当金の調整額	△613
合計	△504,293

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
該当事項はありません。